

		近大・医:推薦:化学													
		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	予想				
有機化合物	芳香族化合物	48	ベンゼンと誘導体												
		49	フェノールと誘導体												
		50	芳香族カルボン酸と誘導体										○3		
		51	芳香族アミンと誘導体										○3		
		52	有機混合物の分離												
		53	検出反応・呈色反応												
化学結合と物質の状態	化学結合	54	主な結合と結晶格子												
		55	結合エネルギー												
		56	電気陰性度												
		57	配位結合												
		58	分子間力と水素結合												
		59	結晶構造, 密度と計算												
	物質の三態	気体	60	物質の三態変化											
			61	ボイル・シャルルの法則											
			62	気体の状態方程式											
	溶液	液体	63	混合気体と分圧											
			64	理想気体と実在気体											
			65	溶解の原理											
			66	固体の溶解度											
			67	気体の溶解度											
			68	沸点上昇等, 浸透圧											
			69	コロイド溶液の性質											
	反応の速さと平衡	反応の速さ	70	反応速度と速度定数											
			71	活性化エネルギーと触媒											
		化学平衡	72	化学平衡と平衡移動											
73			平衡定数												
74			電離平衡, 電離定数												
75			pH, 水のイオン積												
76			緩衝溶液												
77			塩の加水分解												
高分子化合物	合成高分子	78	溶解度積												
		79	合成繊維, 合成樹脂												
	天然有機化合物	80	合成ゴムと天然ゴム												
		81	単糖類, 二糖類												
		82	多糖類												
		83	アミノ酸, ペプチド												
		84	タンパク質												
生命	生命の化学	85	脂質												
		86	核酸												
		87	酵素反応												
		88	代謝, エネルギー代謝												
	2016年度予想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応式と量的関係は頻出である。 ・ 熱化学か中和滴定は出そう。 ・ 電気分解とファラデーの法則は出るかも…… ・ 有機は元素分析と芳香族であろう。 ・ 化学平衡からは緩衝溶液, 溶解度積になりそうである。 													